

# いまいましい香り

大島  
行雲

いつからだろう 気になってならない

あの子の香り あの子の横顔

世界を変えたい 自分を変えたい

だから 占いや拾った五円玉を 信じてみる

でも 彼は言う

奴には男がいる

いつまでも通じない あの子の電話

昔と同じ鈍い刃を感じ始める

僕の手は砂を握り続けられない

最後には 嫌な思いの粒だけ残される

或る映画で言ってた

この世のラブストーリーは二通りしかない

男が女を失うか 女が男を失うか それだけだ

必ず一人が後に残される

だからこそ 恐れていたら

何もできないけど

だからこそ それを恐れて

僕は躊躇する

曖昧な希望に縋りついて

愚かな過ちを繰り返すことを

もう繰り返すまい

そう言い聞かせる僕の横を

あの子は通り過ぎる

僕を狂わせる

あの

いまいましい香りを残して